



第19回自治労青年女性中央大交流集会 北海道実行委員会ニュース

発行
【第5号】
2014年5月24日
第19回自治労青年女性中央大交流集会
北海道実行委員会

地方協にむけた議論が進んでいます！

地方協夏期交流集会の開催にむけて、活発な議論が交わされています。札幌地方協では、石狩・後志の各地本が抱える悩みについて話し合うことから始め、各参加者が集会への参加から単組の具体的な活動につながるにはどうしたらよいかを議論してきました。また、参加者同士が共通の認識を持って話し合いを進めていくために、模造紙や付箋を活用した、いわゆるブレインストーミングの手法を活用してはどうかといった意見が出されました。



＜実行委員会の様子＞

～各地方協夏期交の進捗状況～

札幌地方協

【開催日】6月21日～22日 【場所】ニセコ町 ヒルトンニセコビレッジ
【獲得目標】合理化について学び、単組の具体的な活動につなげる

旭川地方協

【開催日】6月21日～22日
【場所】和寒町 研修館「楡」
【獲得目標】何を持ち帰るか
単組の取り組みに学ぶ

函館地方協

【開催日】5月31～6月1日
【場所】森町 グリーンピア大沼
【獲得目標】仲間の取り組みに学び自分たちのオカシイに気づく

岩見沢地方協

【開催日】6月7～8日
【場所】夕張市 ファミリースクールひまわり
【獲得目標】役員も参加者も同じ視点で集会をつくる

釧路地方協

【開催日】6月28～29日
【場所】上士幌町
【獲得目標】次につなげる集会にしよう

中央交にむけて

江別市職務
斉藤希さん



一昨年の初めての中央交は「とりあえず行ってみよう」という勢いで半分、正直、受け身な姿勢だったように思います。2回目となる今回は、昨年の夏期交流集会「三美瑛で分散会をした保健師の仲間の思いや、北海道での議論・運動について、話しすぎないように意識しなければいけないほど、託された思いをたくさん持っていて、けることがとてもありがたいと感じています。

単組財政問題だけではなく「中央交に参加したくても仕事の調整が難しい」という声があったように、仕事に追われ、組合活動どころか同僚と話す時間もない、職場の課題に目を向ける時間もないという人は多くいます。しかし、「こんなときだからこそ、いま自分たちが変えようとしなければ職場が勝手に良くなることなんてない」という、あきらめない思いを大事に、これからの地方協、そして中央交へつなげていきたいと思えます。

全道庁斉藤さんから

中央交への意気込み

後志総支部青年部長斉藤です。後志総支部青年部は組織されて間もなく、今年から活動を再開しました。「青年部の活動とは何か。」といった疑問も多く、青年部員で模索をしながら活動をしています。

そんな折、中央交に行かないかと声をかけていただきました。全国自治体の青年女性部員の声を聴き、後志総支部青年部のために何ができるか学ぶ目的で参加し、今後の組合活動に活かしていきます。



第19回中央交の日程

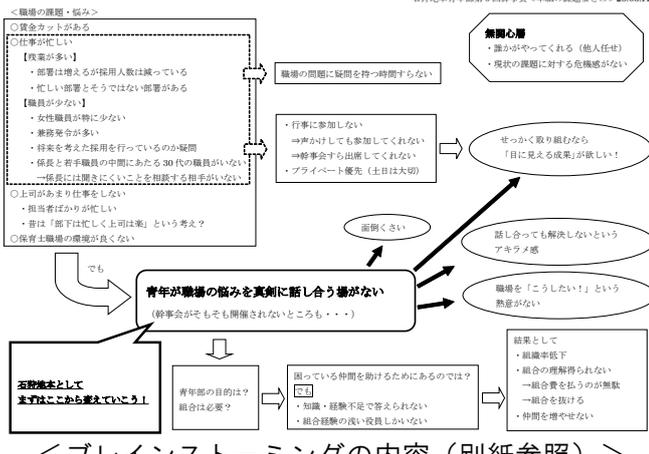
7月11日(金)～13日(日)
会場：山梨県 山中湖畔
北海道団として10日(木)に結団式を開催します。
参加する方、参加できない仲間の皆さんも一丸となってこの日を向かって取り組みましょう！！

石狩地本の「企画」

【石狩地本の課題】

石狩地本では今回の地本一企画の内容を決めるにあたって、地本幹事全員で単組の課題とは何か？をテーマとしたブレインストーミングを実施しました。

そこから明らかになったことは、それぞれの単組で色々な課題があるにもかかわらず、それを話し合う機会があまりないということでした。中には幹事会すら開催されず、ほとんど休止状態のような単組もありました。



＜ブレインストーミングの内容（別紙参照）＞

そこで石狩地本として、各単組でどのような課題があるのか、そしてその課題を解決するためにはどうすればよいのかを話し合うため、地本幹事が各単組をまわる「各単組の課題のとりまとめ」を実施することにしました。

【一企画の内容】

地本・単組の四役を中心に、幹事などの役員や、必要に応じて道本部四役の力もお借りしながら各単組の課題を洗い出し、石狩地本としての課題をとりまとめしていきます。

とりまとめにあたっては、地本役員が各単組の幹事会等に参加することを基本としながら、「単組の活動状況は？」、「運営上の課題は？」といった話題から話を進めていく予定です。この実行委員会ニュースを発行する段階では全単組を回ることはできていませんが、6月の札幌地方協夏期交までには石狩地本としての課題をとりまとめ、その課題を地方協、そして中央交にもちよりに、仲間との議論の中でよりよい解決の手段を模索していきたいと考えています。そして、その成果を各単組での具体的な活動につなげていければと思います。

後志地本の「企画」

【時間外勤務の現状】

後志地本では各集会の際に、「土日はイベントがあつて組合活動になかなか参加できない」「残業が23時までかかり地本への報告ものが遅れました」といった仲間の声を耳にします。

地本幹事会ではこういった時間外勤務の現状について議論したところ「時間外勤務は蔓延しているが、自分で手帳を付けたら、不払いの手当額はなかなか把握しにくい」という意見が出ました。また「毎日忙しくて、作業に時間の掛かる取り組みは負担になるし、集まらないのでは」という意見もあり、悩んだ結果、「生活実態点検データ」を各単組・総支部へ配布し取り組みに協力してもらいました。

作業は、始めに自分の時間外勤務単価を入力し、毎日時間外勤務時間を入力するだけの「1日ワンクリック」作業で、1ヶ月の時間外勤務時間及び時間外勤務手当の金額が自動計算されるというものです。

2月から3月までの取り組みで、後志管内13単組・総支部81人の仲間の皆さんから提出頂きました。

【集計から見た実損額】

集計、分析していくことで、分散会などで聞いていた時間外勤務の実態を具体的に数値化することができました。

- ① 調査期間中の時間外勤務手当（不払い・支給済みを問わない）の総額は約379万8千円に及ぶ。
- ② 各課・係ごとに時間外勤務の量や手当の付き方は異なる。
- ③ 各単組・総支部ごとに時間外勤務の量や手当の付き方は異なる。
- ④ 経年数別で見ると2年目から3年目の職員の時間外勤務が多く、若い労働力を安く買い叩かれている実態にある。

この結果を受け後志地本では、各単組・総支部へこれらの集計結果を報告し、後志地本基本組織に対して改善のための取り組み強化に関する要請書の提出へとつなげました。（要求書については別紙参照）

＜中央交の参加者数＞

石狩	6	胆振	7
後志	1	日高	3
上川	6	空知	3
留萌	1	網走	2
宗谷	1	十勝	1
渡島	6	釧根	5
檜山	1	道本部	4

計47人の仲間の皆さんが北海道を代表して参加！